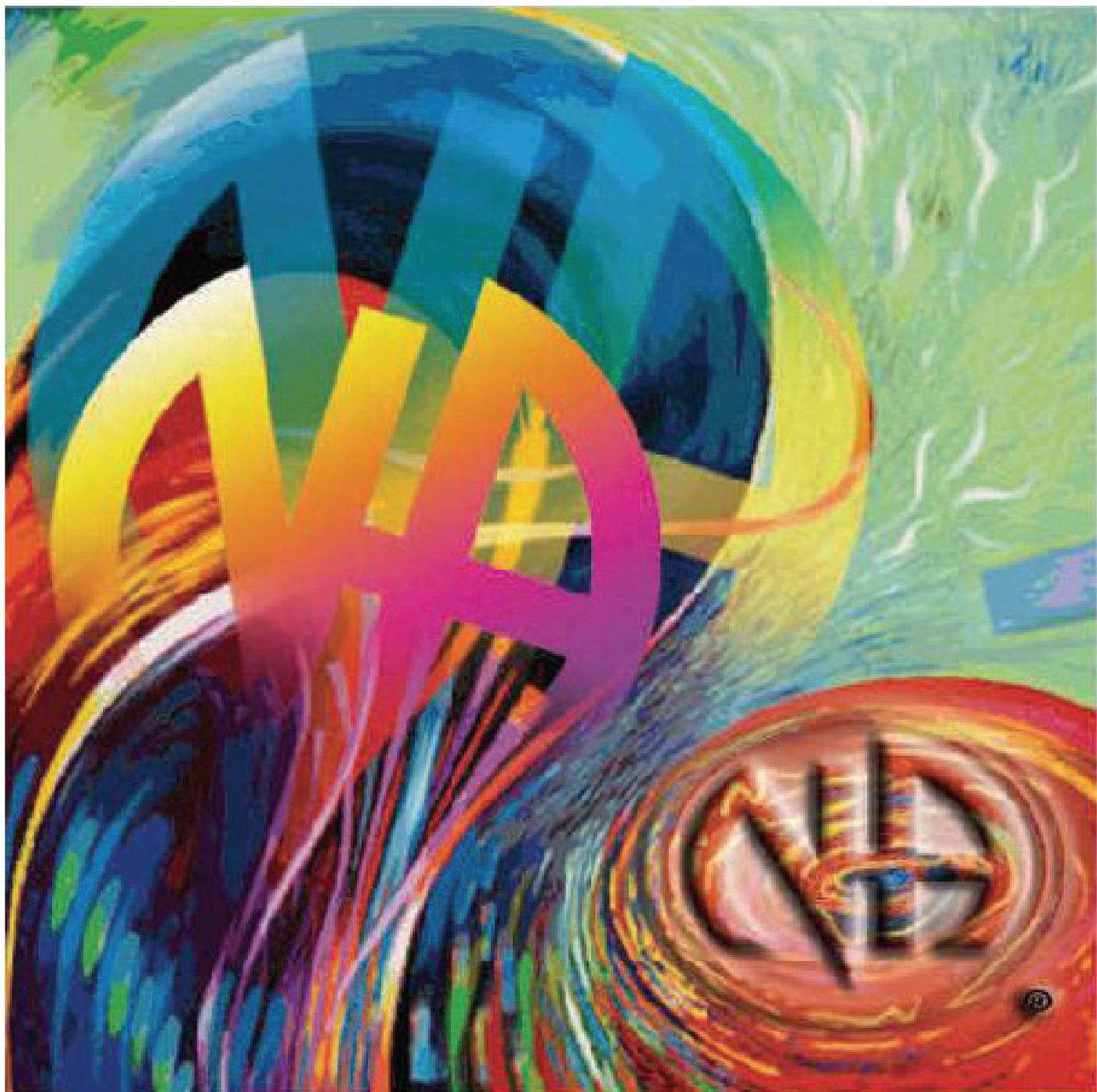


THE  
NAWay  
MAGAZINE®

世界中で読まれているNAの定期刊行物



2017年4月発行  
第34号 ◆ 2号



• 対人関係

• ガイディング・プリンシプルズに関するIDT

## 世界中で 読まれている NAの定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシャ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由に載せられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的なメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ

**NA World Services, Inc.**  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA  
Telephone: (818) 773-9999  
Fax: (818) 700-0700  
Website: [www.na.org](http://www.na.org)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待っている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていきたい。回復するなかでの経験はもちろんなこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせいただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクスアノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクスアノニマスワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されていない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、[naway@na.org](mailto:naway@na.org)にeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine : ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクスアノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクスアノニマスワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

祈りと黙想をするというのは、NAにつながったばかりのときにはとっつきにくいものだ。遠慮したいとか、ゾツとするというメンバーも少なくない。それでも12のステップによって歩を進めながらそれぞれにいろんな経験をする中で、スピリチュアルなことに対する取り組み方は変わってくる。そして、それぞれに学んだことを仲間たちとわかちあううちに、なるほどそういうことだったのかと、わたしたちの回復には一筋の道がみえてくる。だが、わたしたちひとりひとりの進路は、NAという仲間の集まりのために行う活動によって変わってくるのだ。

今月号の『NA Way マガジン』では、いつもどおり個人の経験がわかちあわれている。それによってわたしたちは、こうして旅をしているは自分ひとりではないのだと気づかされる。それはまた、NAが新しい場所に根付いていけば、そこでNAにつながった人たちもやはり孤独ではなくなるとのことだ。フェローシップディベロップメントに関する記事によって、わたしたちはそのことを思い出させてもらえる。そして毎月、世界中でNAが成長と発展を遂げている様子がつぶさに語られることで、NAワールドサービスが新しいNAを育てるために役立っている方法を、みんなで共有できるのだ。今月号では、『NAWSアニュアルレポート[NAワールドサービスの年次報告]』から何ページかをそのまま取り上げて、成長しつつある2つのNAに焦点を当てている。(これとあわせて、[www.na.org/AR2016](http://www.na.org/AR2016)にある今年度と過去の年次報告にも目を通していただければ、みなさんのワールドサービスに関する豊富な情報を知ることができるでしょう)

[ド・J \(エディター\)](#)

P.S./追記 : NA Way マガジンでは、世界各地で「みなさんの」NAが発行しているニューズレターの特集を予定しています。みなさんのニューズレター郵送リストにワールドサービスの住所を登録していただくか、[naway@na.org](mailto:naway@na.org) 宛にみなさんのニューズレターを配信していただくようお願いいたします。選別は、2017年7月末日までに届いたものによって行います。また、みなさんのニューズレターに関するガイドラインも、ぜひお寄せください。こちらで収集したものは、[na.org/localresources](http://na.org/localresources)で世界中の仲間と共有する予定です。

## 今月号の掲載記事

<b>特集記事</b>	3	<b>フェローシップ ディベロップメント</b>	14
• 対人関係		• タイ	
<b>わかちあい</b>	4	• 東アフリカ	
• 黙想による恩恵		<b>ベーシック・キャプション・</b>	
• 長い道のり		<b>コンテスト</b>	16
• 重力		<b>Calendar</b>	17
<b>グループ紹介</b>	7	<b>NAWS Product Update</b>	19
<b>ガイディング・プリンシプルズ:</b>	9	<b>Coming Soon</b>	20
<b>ザ・スピリット・オブ・アウア・トラディ</b>			
<b>ションズ</b>			
<b>サービスセンター</b>	13		



電子版はここをクリックすると追加のコンテンツを見られます

表紙写真 : 2016年のバハカリフォルニア コンベンションによるアート作品

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからのご便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろんなこと、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

## 対人関係

「対人関係というのはひどい痛みをともなうことがある」。『ベーシックテキスト』の「回復とリラプス」の章には、そう書かれている。俺がクリーンになって8ヶ月になったとき、女房は荷物をまとめ、息子二人を連れて出ていった。俺は、女房に逃げられたことを言い訳にして使ってしまった。そんな俺に、ハイヤーパワーは助けを求めるといつてくれた。俺はわらにもすがる思いで、7年のクリーンタイムをもつ兄貴に迎えにきてくれと頼んだ。ニューヨークからバージニアまで長い道のりだったが、ミーティングでホワイトキータグをもらうことができ、それによって俺はもうかれこれ18年クリーンにとどまってきた。

また、『ベーシックテキスト』の「どのように効果があるのか」の章では、こんなことがあった。以前に、あるNAのコンベンションでその一節を読んでいるときに、「私たちの回復を何より妨げるもの」というところで、「対・人・関・係！」と叫んだ仲間がいた。その場にいた俺たちは、クスクス笑ってしまった。お互い、身につまされておかしかったのだ。すると、ひとりのオールドタイマーが、俺に向かってこういった。「このプログラムは、神から与えられたものなんだ。言葉でもてあそぶな。おかしなことなんかないだろ、対人関係が破綻した苦しみから使ってしまったたり死んでしまったりした仲間は、ひとりやふたりじゃないんだぞ」

回復の道を歩みはじめたころ、俺は家庭が壊れた痛みについてわかちあった。それでも「使わないで自分も他人も傷つけず、ミーティングに通いつづけていけばいい。そうすれば、ものごとは良くなっていく」と、NAは教えた。そして、独り身の父親になる道を示してくれた。俺は、あきらめることばかり考えていたんだ。それが、プログラムに取り組むことによってすっかり好転した。たとえ、もう1日クリーンでいるというだけに過ぎないとしても、好転していることにはちがいはなかった。

それから何年もして、クリーンになって22年の兄貴が離婚した。インターネットで知り合った女とくっついてよその州に行き、ふたりは結婚した。だが2、3年もすると、ふたりの仲はギクシャクして、うまくいかなかった。兄貴はリラプスしてしまい、それからはどうしてもクリーンにとどまることができなかった。その時点で、俺は17年もクリーンでいられたのだから、今度は俺が14時間の道のりを運転して、かつて自分がしてもらったように兄貴を迎えに行こうと思った。

だが、現実には甘くなかった。兄貴は、疲れたというメッセージを俺に送ってきた。そして、薬物とアルコールを大量に摂取して命を落とした。

「回復とリラプス」の章は、リラプスを防止するものだとされている。俺がつながったばかりのとき、亡くなった兄貴はこんなことを教えてくれた。「ミーティングで『ベーシックテキスト』の引用を耳にしたら、例の対人関係はひどい痛みをともなうことがあるという一文の前と後にある段落を読んでみる。それで、腑に落ちるってもんだ」。兄貴は正しかった。「この5分をあきらめなければ、奇跡は起きる」とか、「頑張るんだ、使わなければ、うまくいく」とか、痛みを経験していなけりゃ言うのは簡単だ。何があろうと、まずはクリーンにとどまることに決まってる。長年にわたる浮き沈みを通して、絶対にくじけないでいられたのは、祈りと「回復とリラプス」の章のおかげなんだ。



アート作品： ミシェル・G(アメリカ合衆国/カリフォルニア)

ロジャー・R (アメリカ合衆国/バージニア)

## 黙想による恩恵

私は、NAにつながったばかりのときも、回復の道に踏み出してしばらくの間も、黙想には懐疑的だった。黙想をしなくていいことにするもっともらしい理由はないかと知恵をしぼり、『ベーシックテキスト』の「どのように効果があるのか」のなかに、これだというものをひきあてた。「**祈ることをしない仲間にとっては、黙想だけがこのステップの実践の方法だ**」とある。自分は特例だと思った。私は黙想をしない人間だから、祈ることだけがこのステップを実践する方法だった。

私はステップ11に取り組むなかで、「なぜ、黙想をするのか」とスポンサーや仲間たちにたずねた。答えは簡単だ。NAによってもたらされる恵みをあますところなく享受したいなら、選り好みせず、プログラムを丸ごと実践していく必要があるということだった。もちろん、黙想はしなければならぬわけではないから、しなくてもいいが、その場合には限られたプログラムの限られた恩恵で手を打つことになる。では、黙想による恩恵とは何か。NAの文献によれば、「**黙想を通して気持ちを落ち着かせると、心の奥から安らぎが感じられるようになる**」こと、そして「**黙想によって最初にあらわれる効果は感情のバランスである**」ということだ。それに、この11番目のステップでは、私たちは祈り「や」黙想によって求めたとはなっていない。だから、私は実際にやってみようになった。

とはいえ、ほかのステップに初めて取り組んだときと同じで、心を開こうとしても開ききれないまま、これでいいのかと不安になりながら始めていった。それが1年もすると、なんとなくではあるが奥深い変化がいくつかもたらされつつあることに気づいた。しかし、私の場合、なんとなくというのはうまくいかないことが多い。だから、まったくなすすべがないという状態になるまで、助けが必要だと認めることができなかつたのだ。それは黙想にもあてはまる。打ち消しようのない決定的な経験が必要だったのだが、それを初体験したのは自然のなかであった。

私は、樹の生い茂る切り立った崖の上でベンチに腰かけ、眼下にのぞむ太平洋の日没を眺めていた。心がおちつき、自己中心的な考えから解き放たれると、周囲のものごとがよくわかるようになった。海から吹きつける風が崖を駆けのぼってくると、腕のうぶ毛や髪の毛をなびかせ、ざわめく音がする。あたり一面に潮の香りがたちこめている。この自然の神秘につつまれた場所から発するエネルギーが、あらゆるものに喜びをもたらしている。眼下にひろがる砂浜では、恋人たちがそぞろ歩き、子どもたちが水辺で砂遊びに興じ、犬が追いかけてこやし、波がたえまなく打ち寄せては砕け散る。そして太陽が、まさにみるみるうちに、遠くの水面に沈んでいく。

そのとき、ほんの一瞬、太陽が静止した！ 犬は追いかけてこをやめ、子どもたちは遊ぶのをやめ、恋人たちは歩くのをやめた！ 絶えず吹きつける風がやみ、私の呼吸も心臓の鼓動もとまった。

一瞬が、永遠になる瞬間。あの瞬間に、わかった。そして今も、わかっている。風は、一定不変のものであったことなどない。音も、光景も、私の心や気持ちも、一定不変なものでありはしない。宇宙に存在するあらゆるものは、完璧なリズムで鼓動している。だから、私も、そのなかで鼓動している。もはや、自分がそうして鼓動する宇宙に存在するという事実は否定できないし、黙想の価値も認めないわけにはいかなかった。心が開かれたことで身構えるものがなくなり、スピリチュアルな世界を堪能することができた。もう、迷いがなくなった。

今では、黙想が日課となっている。いまだに根底から揺さぶられるような経験をするところがあるが、そういう体験はあくまで例外であり、普通のことではない。たいていは何も起こらない。だからこそ、すっかり心穏やかでいる。私はほとんどの場合、身勝手に自己陶酔的で貪欲なエゴに支配されているが、だからといって、エゴだけで私という人間が明らかになるわけではない。祈りと黙想によって、そういうことがわかるようになった。

そして、祈りと黙想を実践していれば、エゴの要求を脇に退けて自分のことばかり考えてい



ライオンロック(ニュージーランド/オークランド)  
2012年撮影:スー・H(オーストラリア/シドニー)

る状態から自由になることができるのだから、ありがたい。

エゴというのは、心や頭にあることを手当たり次第に食い物にしようとする。そんなことがわかっていないので、身体のことをわかっていない。喜びを与えてくれる道具ぐらいにしか考えていないため、身体のはかなさに愕然とさせられるのだ。私の肝臓や腎臓の働きなど、気にもとめていない。毎度のように、私の身体をパシリのようを使う。いじめと同じで、おとなしく自分のいうとおりにしると命じる。それが今や、黙想の静けさのなかで、エゴはとまどう。私はただ呼吸しているだけなのに、吸って・・・吐いて・・・吸って・・・と無心にならなくては、とてもかなわないと白旗を上げてエゴが縮小していく。私の意識に対する要求をいくつかあきらめる以外に、なすべがないのだ。

やがて、私は自分が息をしているというなんの変哲もない事実集中するようになった。だが、静かに座して、存在する以外には何もしないことによって突きつけられる課題は、並大抵のことじゃない。ただひたすら呼吸をすることだけに注意を払おうとしているそばから、雑念に氣をとられる。頭がものすごい勢いで右往左往しながらせわしなく動き回っているのに気づく。だが、エゴの絶え間ない要求に向けられていた注意が一瞬にして呼吸だけに集中すると、徐々に雑念が払われていき、ふつうならエゴによって追いやられてしまう情報がもたらされる。それによって、私はふだん気にかかっていることとは関係のないこと、すなわち心臓の鼓動や息づかい、骨格、手や足、血液の流れ、そして自分をとりまく現実世界を意識するようになる。

するとたちまち、草は青さを増し、雪は輝くばかりの白さとなる。回復、愛なる神との一体感、地球という惑星とそこに生きるあらゆる生物。自分があるべき場の鼓動を認識したその瞬間、あらゆるものが静止する。黙想はしなければいけないわけではないのに、私は黙想をしたいと思うようになったのだ。「**ステップ11がなかったら、スピリチュアルな目覚めを経験することもないだろうし、毎日の生活のなかでスピリチュアルな原理を実践することも、ほかの人たちを回復へと引きつけるメッセージを運ぶこともできないだろう**」今日だけ、私は「**やっと手に入れることのできたスピリチュアルな宝物の恩恵**」に対して感謝の気持ちを変わずにもっていよう。もう、迷いはない。

アノニマス

編集注：この記事にあるNA文献からの引用文はすべて、『ベーシックテキスト』の第4章「どのように効果があるのか」によるものです。

# 長い道のり

僕は、アディクトのマシュー。カナダのケベック州ラバールで回復の道を歩んでいる。今は、クリーンになって1年と9ヶ月（2016年の10月現在）。ここまでは順調に歩んできたけど、自分の人生がアディクションという病気によってどれほど牛耳られていたかということが理解できるようになるまでは、長い道のりだった。

NAとの最初の出会いは1996年で、僕が18歳のときだった。ホームグループに参加してNAのサービスにかかわったが、よくなるためにしたことはそれだけだった。自分の回復に取り組まないうでいたら、1998年にリラプスしてしまった。2000年と2001年にも、やはり同じ結果になった。そして再起を果たし、クリーンタイムが8年続いて回復にも本腰を入れたが、プログラムを実行する努力はつづかなかった。

先延ばしすることは、まさしく僕の生き方の欠点になっている。今日やってしまえばいいものを、かならず明日に延ばす。アディクションという病気は、油断ならない。こっそりと進行するんだ。だから、サービスの委員会や会議によってNAの役に立つことをしよう、8年間クリーンでいようと、社会に受け入れられてしっかり生きていようと、そんなのはどれも回復のプログラムに取り組むことの代わりにはならない。

2010年からの5年間、僕はこの病気によってずっと希望のない日々を過ご

## NAの会場に

### たどりついたころの

### 僕は、若者、すなわち

### 青年の「部類」だった

すことになった。そのさなかに結婚をして家庭を持ったが、15ヶ月後には妻から離婚を言い渡された。今もって、あきれてしまう。だが、それは、僕が否認から抜け出てNAのミーティング場に戻るようと、ハイヤーパワーがしてくれたことにほかならなかった。僕はすべてを手に入れて、すべてを失った。恋人、可愛いさかりの子供がひとり、家、仕事、友人たち。何もかも失ったのはアディクションのせいであると同時に、プログラムに取り組まないうでこの病気に支配されるままになっていたせいでもある。

そして、2015年のことだった。ハイヤーパワーが助っ人をよこしてくれた。僕のいちばんの仲間、そもそも1996年にNAのことを僕に紹介してくれた人

物でもある。この仲間が2015年の1月12日に僕の家に来てくれた。しかも、この仲間はあれからずっとクリーンでいた（今もそうだ）。だから、この日をかぎりに、僕はもう使わないと決めた。それでも、「自分からクリーンになった状態」で2ヶ月も経ってからはないと、ミーティングに足を運ばなかった。5年ぶりのミーティングで、苦しんでいるアディクトであると名乗ったとき、僕にはひとつだけわかっていてよかったことがある。NAでこれまでの15年間とはちがう結果を望むなら、これまでとはちがう行動を取らなければいけないということだ。だから僕は、新しいスポンサーを探した。

スポンサーとの間では、自分がステップに取り組んでいくことによってスポンサーに導いてもらいたいということがはっきりしていた。僕は、せっせとミーティングに通い、NAの役に立つことをした。とにかく、これまでとちがう態度で、これまでとちがうことを次々とやった。それによって、これまでとちがう結果がもたらされた。つまり、ステップに取り組み始めてまもなく、何もかもがちがってきて、うまくいくようになったのだ。何ヶ月もの間、いい時も悪い時もたくさんあったが、僕はクリーンにとどまった。ステップ1に取り組んでいるうちに、僕の生き方には否認がすっかり染みついてしまっていることがわかった。また、僕は先延ばしばかりしていたが、そこにはある種の先延ばしが潜んでいたことも理解するようになった。最初はそれがなんなのかよくわからなかったのだが、そのうちに、僕は先延ばしすることでリラプスする余地を残していたのだとわかった。そんなことをしていた僕がクリーンにとどまれたのは、スポンサーと仲間たちのおかげだと感謝している。

そして、役に立つことをするのにもまた、僕が生きるうえで重要な役割を果たしてきた。NAの会場にたどりついたころの僕は、若者、すなわち青年の「部類」だった。それがこの歳になって、NAのユース（ヤング向け）コンベンションで役に立つことをさせてもらうなんてまったく皮肉なもんだが、それによって僕はエゴの抑え方や、人との接し方や、チームでの取り組み方を学ばせてもらった。今は、サービスにかかわるなかでステップとスピリチュアルな原理を活かすことによって、自分を抑えることも学んでいる。僕は、ほかのだれよりも尊大になりかねないから、それがわかって以来、サービスの委員会でそういう自分が出ないようにしたいと思ったんだ。

経験があろうとなかろうと、みんなチームの一員であることに変わりはない。そのことを認めるために、僕は謙虚でいようと必死に努力している。そうすれば、いち早くみんなの役に立てるだろう。そうしてサービス活動への真剣な取り組み方を学んできたので、今の僕はもう若くはないにしても、若い人たちと結びつく絆がある。それが仲間

あり、同志であり、チームであるということだ。ここ20年ちょっとの間に、ユース コンベンションは僕のおかげがないNAファミリーになった。もうひとつの我が家ともいえる。そして、ある時点で、僕をクリーンにとどまらせてくれる唯一のものでもあった。何年も経つうちに、僕には親しい仲間がたくさんできたが、それと同時に、僕は親しい仲間をたくさん失いもした。それでも、ユース コンベンションは、アディクションが猛威を振るうなかから多くの人たちを救い、僕たちがマシな人間になる助けとなり、現実を受けとめて生きる覚悟をする場となることで、僕より偉大な存在としてありつづけ、何年ものあいだ僕の助けになってくれたという事実は今も変わらない。僕らは、あらゆる方法で関わりたいながら、自分たちで解決できることの限界に挑むのだ。こうして1日たりとも欠かさずに僕の命を救ってくれているNAという仲間の集まりに対して、言い残したことはひとつだけで、心からの感謝をあらわすにはこれにつきる。NAがあつてよかった！

マシュー・F (カナダ/ケベック)

編集注： この記事は、もとは2016年秋季に発行された（イランの雑誌）『Payam Behboodi』に（「先延ばし」というタイトルで）掲載されたものです。

## 重力

さて、ある日のこと。回復の道を歩むアディクトである俺は、スレッジハンマーでベッドフレームを壊すことにした。ベッドフレームはゴミ捨て場まで持ってかなければならないから、分解すればかんたんに車に収まるだろうと思ったわけだ。俺はスレッジハンマーを使いながら、どのように重力に頼ればもっと効果的かと考えをめぐらせた。

その時だった。重力は、俺が理解する神にすごく似てるという考えが浮かんだ。

重力は、目に見える物質のようなものではないが、俺をとりまく世界に存在している。それは、俺の理解する神も同じだ。重力は「目で見る」ことはできないが、存在を裏づけるものを探そうという気でいれば、俺が従うべきものとしてそこに存在する。その証拠は目にすることができるし、自分が耳を傾けつつあるものを理解すれば、耳にすることだってできる。それは、俺が理解する神についても当てはまる。重力は、俺よりも偉大な力だ。それは、俺が理解する神も同じだ。

だが、重力と俺が理解する神とのあいだには、きっと何らかの違いがあるはずだという思いが浮かんだ。そうだ、違いはある。

重力は物体を落下させる強力な力で

あるのに対し、俺の理解する神は精神を高める「力強い存在」なんだ。

こうして俺が黙想したことを、愛を込めて、回復の道を歩む世界中の仲間たちとわかちあう。ミーティングに通いつづけよう。NAには仲間が必要なんだ。

ピート・H (アメリカ合衆国/ノースカロライナ)

# まもなく発行!

## 『NA Way マガジン』ニューズレター特集号

近々発行される『NA Way マガジン』では、「みなさんの」NAで発行しているニューズレターを特集する予定です。掲載を希望される場合には、みなさんのニューズレター配送リストにこちらの住所を登録していただくか、みなさんのニューズレターを [naway@na.org](mailto:naway@na.org) へメールで直接送っていただくようお願いいたします。2017年の7月末までに届いた「みなさんの」ニューズレターのなかから、ニューズレター特集号に掲載する記事を選ばせていただきます。

なお、こちらにニューズレターを送る手配をされる際には、みなさんのニューズレターに関するガイドラインも一緒に送っていただくようお願いいたします。私たちは世界各地のNAによるガイドラインを収集して、NAのホームページにある「ローカル リソース」のページ ([na.org/localresources](http://na.org/localresources)) で共有できるようにする予定です。

ご協力に感謝します。

# ◆ ◆ ◆ ◆ グループ紹介

NA Wayでは、世界中のNAからミーティング会場やイベントの写真が送られてくるのをお待ちしています。ただし、集まっているメンバーがどのだれとわかる写真をご遠慮ください。なお、写真には、グループやイベントの名称、所在地および国名はもちろん、グループやイベントが誕生してどのくらい経つのか、ミーティングの形式やイベントで大事にしている習慣、ユニークな点など、グループやイベントの紹介文を添えて[naway@na.org](mailto:naway@na.org)までお送りいただくようにお願いします。

## ミーティング場

『今日だけ』を読んでいると、「ミーティング場」という言葉を何度となく目にするのですが、私にはこれが何を意味するのかわかりませんでした。イランのNAでは、メンバーの数がとても多いため、ミーティングは大きな施設で開かれます。それは円形競技場であったり大広間であったり、ミーティング場ではありません。だから、「ミーティング場」というものがわからなかったのです。

「ミーティング場」のことは、もともと私が回復の道を歩み始めたころから疑問に思っていたことでした。そして、イランのメンバーたちのためにNAの文献をペルシャ語に翻訳する作業を手伝うようになってからも、「ミーティング場」にはずっと頭を悩ませていました。そんなとき、私はアルボルズエリア（18番目のエリア）のASC[エリアサービス委員会]でセクレタリーを務める機会に恵まれたのです。

私はセクレタリーになって2年目に、へんびな地域の村々にあるNAグループも訪れた方がいいと思いました。アルボルズエリアには僻地のグループが3つあり、シャレスタナク、ネサ、コンドルという小さな村でミーティングを開いています。私はそのひとつであるネサ・グループを訪れることにして、親しい仲間たちに同行を頼んだのですが、みんな当日の夜は時間がくれませんでした。それで、私は70キロ（約44マイル）の道のりを一人で運転していったのです。その道中には、一種のスピリチュアルな経験ともいうべき高揚感がありました。ようやく、目指すミーティングを探しあてると、それはシャルズ・ロード（なんとも美しい道路）沿いにある学校で開かれていたのです。

ミーティングが開かれていた部屋は、小さいけれど、ちょうどよい広さでした。6、7平方メートル（約65~75平方フィート）の部屋に、メンバーは9人しかいなかったからです。この9人の経験を聞いて、私は感動しました。最後に、リーダーが私を指名してくれたので、私も自分の思いをこの9人とわかちあうことができました。ミーティングが終わってからは、このグループのメンバーやしもべたちと話をしました。みんな、よそからの参加者があったことに驚いていました。

翌朝、ホームグループのミーティングが終わったところで、私はネサ・グループのミーティングのことをスポンサーに話し、私たちのASCがあつた僻地にある小さな村の助けになるにはどうしたらいいかと聞いてみました。長いこと話し合った後に、スポンサーは私にこんなことを言ったのです。「本物の回復は、気心の知れたアディクトたちの小さな輪のなかで生まれるものだ」。

みなさんには正直に言いましょ。私はネサ・グループとそのメンバーたちの力になるにあそこまで行ったつもりでしたが、本当に助けが必要なのは私の方だったのです。このようなスピリチュアルな経験をしたことによって、私の心のなかとNAの文献にある「ミーティング場」の真の意味に気づき、継続中のサービスである翻訳作業もうまく進むようになりました。

いやいや、回復の道を歩んでサービスにかかわっていても、言葉ひとつを理解するのに6年もかかるとあるんですね。

アノニマス（イラン/カラジ）



上：イランのカラジ近郊を走るシャルズ・ロード

下：イランのネサ・グループ

## 満開の桜のなかで

ぼくたちは、まず2006年9月に、毎週水曜日に墨田区の本所吾妻橋でミーティングを開くようになりました。それから、2009年になって、毎週日曜日の夕方に港区の六本木でもうひとつのミーティングを開くことになりました。

日曜日のミーティングは「ステップ スタディ」ミーティングなので、『なぜどのように効果があるのか』を読んでわかちあいをします。実は、グループ登録の手続きにそう書いたため、NAワールドサービスには「『なぜ どのように効果があるのか』のスタディミーティング」というグループ名が記録されてしまいました。「ウィズ・フェロウシップ グループ」の名前が見あたらないのは、そういうわけなのです。

ウィズ・フェロウシップ グループでは、サービスに関わるメンバーがいなくて危機に瀕していたのですが、それも、ハイヤーパワーのおかげで克服することができました。

東京にはとても美しい桜の並木があり、春には満開になります。それで、春になると、ぼくたちのグループはみんなで桜並木を歩きながら花見をすることになっています。

みなさんがアジアを旅する気になって、東京を訪れたときには、ぜひウチのグループにお寄りください。

マサヒコ・A (日本/関東リージョン)

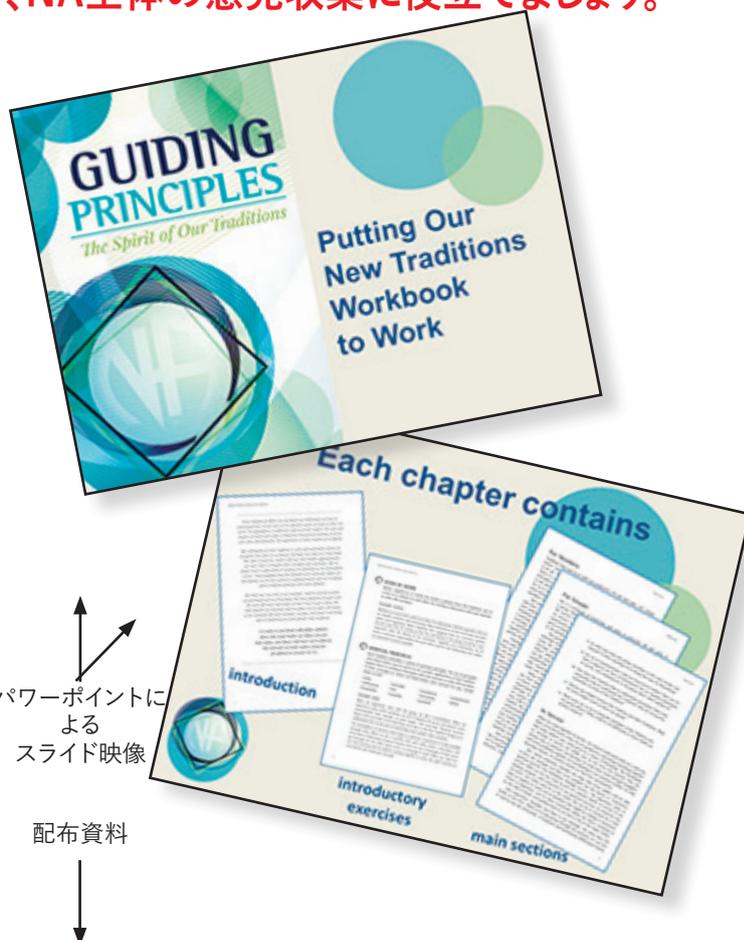


この4ページ(P. 9 -12)を切り取れば、どこでも活用できます。  
ワークショップをはじめ、さまざまなディスカッションによって  
意見を出し合い、NA全体の意見収集に役立てましょう。

イシュー・ディスカッション・トピックス( IDT [検討すべき課題] )は、世界中のNAで回復の道を歩むアディクトたちが話し合いやワークショップで議題とするものです。こうしてディスカッションを重ねることによって、私たちは議題に関して考えを深めながら新しいアイデアや方法をひとつひとつ検討することをうながされ、自分たちのグループやサービス機関のなかに一体性を築けるようになっていくのです。2016年から2018年までの2年間で検討すべき課題 [IDT]:

- テクノロジーとソーシャルメディアにNAの原理を活かす
- サービスにおける回復の雰囲気
- 『ガイディング・プリンシプルズ: ザ・スピリット・オブ・アウェア・トラディションズ』の活用法

今月号では4ページ(P.9-12)にわたって、『ガイディング・プリンシプルズ』の活用法に関するディスカッションの概要と資料が掲載されています。このほかにも、[www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT)には今回のIDTと過去のIDTに関するワークショップの資料がすべてそろっています。みなさんのディスカッションの結果を[worldboard@na.org](mailto:worldboard@na.org)までお寄せいただくことによって、NA全体の方策とサービスが方向付けられるのです。ご協力をお願いします。



## 各グループの第一の目的はただ一つ、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶことである。

各伝統には、さまざまなスピリチュアルな原理が盛り込まれている。以下の原理と価値を認めるものに関するリストは、私たちが「伝統5」の活用について考えるさいに役立つだろう。ひとつひとつ、書くことや、スポンサーや仲間たちとディスカッションすることによって検討してみるとよい。また、これ以外にも自分に関わりがあると思えるものがあれば、リストに加えておくとよいだろう。

誠実さ、	責任、	一体性、	アノニミティ (無名にとどまる)、	献身、
共感、	サービス、	目的、	広い心、	降伏、
忠実、	継続、	用心、	情熱、	思いやり
安心、	希望			

### (例) 継続

継続はスピリチュアルな原理のひとつであり、これによって私たちはすべきことをやり続けていく。それは、「歩みをとめないで！」という決まり文句から始まる。定期的にミーティングに通うことによって私たちはクリーンにとどまることができるし、それがまた希望のメッセージを運ぶことにもなる。私たちは歩みをとめない。そうすればうまくいくからだ。グループはメンバーで決まるので、グループが自らの目的に忠実であるかどうかはメンバー次第である。グループに参加し続けて、正直にわかちあい、敬意をもって仲間と接していれば、つねに私たちの第一の目的は達成しやすくなる。継続して伝えるメッセージには、説得力がある。メンバーの行動とメッセージが明確で持続的なものであれば、グループは必ずうまくいく。

IDT(検討すべき課題)に関する資料はすべて、[www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT)に掲載されています。

## ガイディング・プリンシプルス：新たに誕生した伝統のワークブックをみんなで使いこなす

用意するもの： 『ガイディング・プリンシプルス』に関する覚え書き用紙（3部）、「伝統5」に関する配布資料、書籍の『ガイディング・プリンシプルス』、基本原則集、進行役の手引き、「伝統」と「概念」に関する要約集。

### はじめに

10分

（スライド1） NAの伝統に関する新しい書籍『ガイディング・プリンシプルス：ザ・スピリット・オブ・アウェア・トラディションズ』は、2016年度のワールドサービスカンファレンスで圧倒的多数によって承認された。こうして新たな文献が誕生したことによって、メンバーたちがそれぞれの人生や回復に、グループの活動に、そしてあらゆる段階でのNAのサービスにと、NAの原理を実践する方法を学んでいけば、ナルコティクスアノニマス全体で「12の伝統」がうまく機能するようになるだろう。この「伝統」に関するワークショップは、メンバーたちに新しい文献を紹介しつつ、そこに提案されているようなディスカッションに参加してもらうことを目的としている。

### （スライド2） 本の内容について

この『ガイディング・プリンシプルス』というワークブックにはさまざまな項目や実例があり、共同でも個別にでも取り組めるようになっている（「伝統5」に関する配布資料を参照）。

この『ガイディング・プリンシプルス』というワークブックにはさまざまな項目や実例があり、共同でも個別にでも取り組めるようになっている（「伝統5」に関する配布資料を参照）。

#### 各章の構成

- 始まりと終わりに、それぞれの伝統に関する短い文章がある。
- 下準備の課題が2つある。
  - 「ワード・バイ・ワード[一語一語を忠実にたどる]」という課題は、それぞれの伝統を構成する言葉や言い回しに焦点を当てるようになっている。
  - 「スピリチュアルな原理」という課題はそれぞれの伝統にかかわりのある原理について具体的に書くことやディスカッションすることによって探求するようになっている。
- 本文は、私たちが回復の道で伝統を活かしていくことを3項目に分けて論じている。
  - 「メンバーとして」という項目には、個人の回復にそれぞれの伝統を活かすことを論じる文があり、それに続いて書くことやディスカッションに適した質問が設けられている。
  - 「グループとして」という項目には、グループがそれぞれの伝統を理解して活かそうとするうえで必読のものになるだろう。ここには、グループの棚卸に役立つ質問が設けられている。
  - 「サービスの場で」という項目では、それぞれの伝統をサービス機関の視点から検討する。ここに設けられた質問は、サービスに関するワークショップで活発な議論をうながすことを目的としている。

### 会場の緊張を解きほぐす

20分

（スライド3） 少し時間をとって、ワークブックの「スピリチュアルな原理」という課題を使いながら「伝統5」に盛り込まれた原理のことを考えてみよう。出席者のなかから、だれかに「伝統5」と伝統5に関する配布資料にある以下の文章を読んでもらう。

伝統5： 各グループの第一の目的はただ一つ、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶことである。

各伝統には、さまざまなスピリチュアルな原理が盛り込まれている。以下の原理と価値を認めるものに関するリストは、私たちが「伝統5」の活用について考えるさいに役立つだろう。ひとつひとつ、書くことや、スポンサーや仲間たちとディスカッションすることによって検討してみるとよい。また、これ以外にも自分に関わりがあると思えるものがあれば、リストに加えておくとよいだろう。

誠実さ、責任、一体性、アノニシティ（無名にとどまる）、献身、共感、サービス、目的、広い心、降伏、忠実、継続、用心、情熱、安心、希望

**IDT(検討すべき課題)に関する資料はすべて、[www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT)に掲載されています。**

(例) 継続

継続はスピリチュアルな原理のひとつであり、これによって私たちはすべきことをやり続けていける。それは、「歩みをとめないで！」という決まり文句から始まる。定期的にミーティングに通うことによって私たちはクリーンにとどまることができるし、それがまた希望のメッセージを運ぶことにもなる。私たちは歩みをとめない。そうすればうまくいくからだ。グループはメンバーで決まるので、グループが自らの目的に忠実であるかどうかはメンバー次第である。継続して姿を見せ、正直にわかちあい、敬意をもって仲間に接していれば、つねに私たちの第一の目的は達成しやすくなる。継続して伝えるメッセージには、説得力がある。メンバーの行動とメッセージが明確で持続的なものであれば、グループは必ずうまくいく。

(スライド 4) 原理のリストからひとつを取りあげて、その原理がホームグループのサービスにどう活かせるかについて、会場をひとつわたりして意見を言ってもらおう。

### 小人数のグループによるディスカッション

30分

『ガイディング・プリンシプルズ』を使いこなす実習のために、会場を3つのグループに分け、グループごとに覚え書き用紙にある議題についてディスカッションをしてもらう。議題は、伝統1、2、3のいずれかの「サービスの場で」という項目から抜粋されたものである。(あらかじめ、出席者の席に伝統1、2、3のいずれかに関する覚え書き用紙を配布しておく、グループ分けがしやすいだろう。) (スライド 5) このようなディスカッションはこの場かぎりにせず、サービスの会議やNAのイベントに組み込んだり、回復に関するミーティングの前に行ったりしていただきたいと、出席者にしっかり伝えておく。

グループごとに進行役と記録係を選んでもらい、ディスカッションにあたって基本原則集と進行役の手引きを再読してもらおう。そして、グループによるディスカッションの覚え書き用紙は回収することになっているため、はっきり読める字体で記入するようにと、全員をお願いする。

それぞれのグループで、覚え書き用紙にある「伝統」と伝統に関する抜粋を読みあげるメンバーを指名し、話し合いを始めてもらう。(覚え書き用紙には、『ガイディング・プリンシプルズ』にある「サービスの場で」という項目から最初の段落が抜粋されている)。まずは議題について、メンバーがそれぞれ順番に自分の経験とアイデアを手短かに話していく。進行役は、メンバーに対して自分の考えを明確に、あるいは具体的に話すように求めてもよいが、全員が話し終えないうちにクロス・トークや討論や議論が始まるのを許してはいけない。

**伝統 1：議題：**私たちのNAは、心をひとつにして協力しあっているか？ どうすれば、団結しようという気持ちを固めたり強めたりすることができるだろうか？

**伝統 2：議題：**グループの良心がしっかりと働く過程とは、どのようなものだろうか？ サービス機関の意思決定を見守る場合には、どんなことに注意すればいいか？

**伝統 3：議題：**ミーティングからいなくなってしまったのは、どういう人だろうか？ 外部の問題はどのように、そしてなぜ、アディクトが私たちの地域のNAで回復するチャンスに影響を及ぼすのか？

### ディスカッションのフィードバック

30分

それぞれのグループで議論がいちばん集中したことを、時間の許すかぎり発表してもらう。

出席者による意見を報告書にまとめることができるように、各自の覚え書き用紙は会場に置いていくように再度お願いする。

(スライド 6) 出席者には、この先それぞれにワークショップを開くことがあれば、その際に書き留めたメモを写メールにして [wb@na.org](mailto:wb@na.org) に送信していただきたいと、よくお願いしておく。

このほかにも、『ガイディング・プリンシプルズ』に関するワークショップの資料は [www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT) に掲載されている。

**IDT(検討すべき課題)に関する資料はすべて、[www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT)に掲載されています。**

# ガイディング・プリンシプルス: 新たに誕生した『伝統』に関するワークブックをみんなで使いこなす

## 少人数のグループによるディスカッションの議題

**伝統 1:** 第一にすべきは全体の福利である。個人の回復はNAの一体性にかかっている。

私たちはサービスによって一体になると、実に生き生きとして心が通いあう。役に立つことができれば、私たちはまず例外なく元気になる。そして、アディクトがクリーンにとどまる助けになることを一緒にやることで、私たちには仲間意識が芽生える。サービスによって生まれる友情は、これまでの人生にあったものとはわけがちがう。このような友情は、仲良く気楽にやっていたら芽生えるというものではなく、むしろ懸命に努力して困難を乗り越えながら、一緒に問題を解決することで育まれるものだからだ。私たちは共通の福利に貢献するなかで生きる意味と喜びを知り、想像力に富んだ行動によって愛と目的を見つけるのだ。

**議題:** 私たちのNAは、心をひとつにして協力しあっているか？ どうすれば、団結しようという気持ちを固めたり強化したりできるだろうか？

---

**伝統 2:** 私たちのグループの目的のための最終的権威はただ一つ、グループの良心の中にあられる、愛なる神である。私たちのリーダーは奉仕を任されたしもべにすぎず、彼らは決して支配しない。

グループでは、私たちの第一の目的に全力を注ぐ。それは、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶことだ。そのために、グループのサービス活動ですべきことがいくつか派生する。ミーティングリストの作成や、施設にNAの文献を持ち込むことや、ダンスパーティを催すことなどである。このようなことが行われていくことで、私たちの第一の目的は支えられているのだ。NAのサービスは何らかのかたちで必ずグループの目的と結びつくため、その方針が変わりはない。私たちのリーダーは支配せず、役目は権限ではないので、役に立つことができるかどうかは周囲の人たちの信頼にかかっているということだ。

**議題:** グループの良心がしっかり働く過程とは、どういうものだろうか？ サービス機関の意思決定を見守る場合には、どんなことに注意すればいいか？

---

**伝統 3:** メンバーであるために要求される唯一のことは、使うことをやめたいという願望だけである。

どこであろうとアディクトが苦しんでいるところへ、私たちが運ぶメッセージは決まっている。アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物をやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見出すことができるということだ。伝統3と伝統5の間には明らかにつながりがある。私たちは、だれもが歓迎されていると感じてもらいたいし、メッセージを運ぶために全力をつくしたいと思っているからだ。サービスによって私たちがやるべきことは、アディクトがナルコティクス アノニマスで回復するチャンスをつかめるようにすることである。そして、NAのメッセージには「どんなアディクトであっても」となっていることを、私たちは伝統3によって再確認し、だれもがみなNAにつながって回復の道を歩めるようにすべく努力する。そしてまた、伝統3では、「どういう人が、いなくなってしまうのか」という問いに立ち戻ることを繰り返し求められ、それによって使うのをやめたいと願うアディクトはだれもがみな、私たちにあって大切な存在なのだということを感じさせてもらえるのだ。

**議題:** ミーティングからいなくなってしまったのは、どういう人だろうか？ 外部の問題はどのようにして、そしてなぜ、アディクトが私たちの地域のNAで回復するチャンスに影響を及ぼすのか？

---

みなさんの意見を収集するために、この用紙は会場においていくか、あるいは写メールにして送っていただくようお願いいたします。お疲れさまでした。

**IDT(検討すべき課題)に関する資料はすべて、[www.na.org/IDT](http://www.na.org/IDT)に掲載されています。**

# ◆◆◆◆ サービスセンター

## ミーティングの検索

テクノロジーはめまぐるしく変化しているので、対応するのが容易じゃない。このことは、www.na.orgによる「Finding a Meeting [ミーティング検索]」というサービスや、「NA Meeting Search」と「NA Recovery Companion」という2種類のアプリを導入して以来、NAワールドサービスも身をもって知ることになりました。

NAのウェブサイトと2つのアプリによるミーティングの情報は、NAのメンバー、グループ、エリア、リージョンのみなさんから提供されるものです。今現在、最新情報を定期的に提供しているのは、(世界中にある何千ものサービス機関のうち)42のサービス機関にとどまっています。これ以外のNAミーティングに関する情報は、信頼性にまだ問題ありと言わざるをえません。

インターネットの利用とスマートフォンの所有は広く普及しており、情報を得る一般的な方法になっています。「NA Meeting Search」と「NA Recovery Companion」というアプリのダウンロード数は、2016年末までに約38万6000人となりました。このようなアプリは、旅行したり、別のミーティングを探してみたりするときに便利な道具になるのに、情報が「正確でなければ」役に立ちません。現に、アプリにあるミーティング情報によって、鍵のかかった無人の部屋に行き着く人が後を絶たないのです。NAのメンバーは、このような不具合に慣れっこになっているのかもしれませんが、それにほとんどのメンバーが、現地のヘルプラインに電話をするか、それぞれのエリアやリージョンのウェブサイトを調べるかすれば、最新情報がわかることを知っています。(注：私たちの検索ツールでは、このようなことを頭に入れておくようにお勧めしていますが、GPSによる検索アプリなら誘導してもらえらるのでずっと便利でしょう。それには、やはり情報が正確でなければならないのです)

私たちのところには、NAのミーティングを探すのにインターネットを利用して失望したというメンバーの話が、続々と伝えられています。あるメンバーは、スマートフォンがあったことでホームレス状態から抜け出すことができたが、NAのミーティングを探すときにはなんの役にも立たなかったと言っていました。

では、新しいメンバーはどうでしょうか？2種類のアプリと私たちのウェブサイトは、新しいメンバーがミーティングを探して会場にたどりつく助けになれるのですが、実際にそうなるか、どうかは、みなさん次第なのです。テクノロジーだけでは人間性に欠けるので、みなさんからの正しいミーティング情報がモノを言うのです。

### みなさんにできることは？

みなさんが住んでいる地域について、こちらにあるミーティング情報をチェックしてください。

1. [na.org/meetingsearch](http://na.org/meetingsearch) を検索するか、あるいは「NA Meeting Finder」か「Recovery Companion」のいずれかのアプリを使って、NAWSに提供されている最新情報を確認してください。  
？ 情報は、正確ですか？ おめでとうございます！ では、よその地区にいる仲間やスポンサーたちにも、近隣のNAにも、同じように確認をお願いしてください。
2. 情報が正確でない場合には、自分たちのエリアやリージョンのサービス委員会に連絡をして、どこがどう違っているか知らせてください。
  - ✓ 各国のNAでは、奉仕を任されたしもべがサービスシステムによって定期的にスケジュールの更新にあたるというのが理想です。みなさんのサービス機関にそのような奉仕を任されたしもべがいなければ、その役目をだれかに割り当てることをみなさんから提案するか、さもなければ、いっそのこと、みなさんがその役目を買って出てもよいでしょう。
  - ✓ 私たちはみなさんから最新情報を提供していただくために、みなさんの手間を省く努力をしてきました。みなさんのサービス機関でこの役目を引き受けるメンバーが決まったら、そのメンバーから [webupdates@ne.org](mailto:webupdates@ne.org)宛に連絡をするようにしてください。それに対して、みなさんのエリアやリージョンのためにNAWSが案内することを全部リストアップするスプレッドシート[表計算ソフト]を、こちらに送り返すための指示を添えて送らせていただきます。情報が定期的に(たとえば、毎月、隔月、または年4回)更新されれば、私たちは必ず、ミーティングに関する情報の精度を向上させることができます。
3. 問題意識を高めることで、解決に貢献できるのです。ホームグループのビジネスミーティングとASCやRSCの会議によって、ミーティングに関する最新情報を維持することの重要性について話し合い、NAWSと自国のリージョナル ミーティング ディレクトリーに最新情報を提供するための体制を整備することを、検討しましょう。

正確なデータなんて面白くなくても、それがもたらすものには興奮せずにはいられないでしょう。

ミーティングにたどりつくアディクトが増えることになるのですから、だれもが後押ししたくなりますよね。

このようなことを実現するために、ご協力をお願いします。

私たちにとって、メッセージを運ぶ際、強い味方となってくれるのがグループだ。

『ベーシックテキスト』、「伝統5」

# 成長しつつある NA— フェローシップ ディベロップメント

NAワールドサービス (NAWS) が行っていることはどれもみな、フェローシップディベロップメント [FD] の一部であり、その取り組みはすべて「NAのサービスにたくす未来」によって推進される。そしてFDには、コミュニケーション [情報伝達]、つながり、共同作業が欠かせない。この3つが明確であり、なおかつ継続的に行われていれば、日々たえず成長しつつある世界各地のNAの状況を把握しておくことができるため、ワールドサービスができることやすべきことと、近隣のNAやそのサービス機関に任せられた方がよさそうなのがはっきりするのだ。多くの場合、NAワールドサービスが最初にわたりをつけてさまざまなNAやメンバーの間をとりもてば、ゆっくりではあるが確実に、つながりのできたNA同士がそれぞれのメンバーたちに支えられて飛躍的に成長していく。この一連の過程で、ひとりひとりのメンバーやメンバーが関わるサービス機関の成長が盛んになれば、まだ苦しんでいるアディクトに救いの手を差し伸べるといふNAの能力が活性化されることになる。

NAWSは多年にわたり、イランをはじめとする中東諸国のメンバーたちがひとつになつて支援し合う方法やNAWSが助けになれる方法について理解を深めることができるように、全力を注いできた。中東のNAメンバーたちは、共同作業によってNA同士が支援しあう方がずっと効果的にNAのメッセージを運ぶことができるということを、みごとに示してくれている。それと同じく、NAWSが長期にわたってしっかり関わることでゆっくりではあるが確実に成長を遂げるという取り組みは、現在、インド、ロシア、アフリカ、東南アジアで進められている。こうしてさまざまなNAに支援を提供してきた経験を語れば、何冊か本が書いてしまうだろう。だが、ここでは、2016年度の『NAWSアニュアルレポート[年次報告]』で特筆すべき重要な報告を2件、そのままお伝えしよう。タイと東アフリカのNAに関する報告であり、この2つの地域でそれぞれの言語による『ベーシックテキスト』が誕生するまでの取り組みが垣間見られるものだ。

## タイでのフェローシップサポート

NAのメッセージが世界中に広がってくにつれて、その先々でNAが誕生することになる。そのさいには、外国人たちが果たす役割が大きかった。その功績を重々認

めたうえで、なお、NAの持続性は母国人である地元住民にこのプログラムが定着しているかどうかにかかっているのだと、認識することが大切である。そのため、フェローシップディベロップメントの活動ではNAの内外の両面から取り組む。外部に対する例では、NAに関する理解を確立すべく現地の行政機関や治療の専門家と会談することなどが挙げられる。また、NAの内部に対しては、母国語によってメッセージを運ぶことができるように、現地のNAによる取り組みとその文献翻訳委員会による活動を支援する。

タイのNAとその発展を支援するNAWSの取り組みは、おおむねこのようなパターンに従って行われてきた。しかし、タイのアディクトのために誕生した「タイのNA」は、前途多難であった。タイ語によるミーティングは、その時々誕生するものの、どのみち売人の餌食にされるか、アディクトに対する政府の取り締まりによって閉鎖に追い込まれるのがオチだった。今年の会計年度終了の時点でわかっているのは、タイ人によるタイのNAは目下、バンコクでタイ語によるミーティングがひとつ開かれているということだ。まだこれからだとしても、ミーティングがひとつだけでは、英語を話さないタイのアディクトがNAで回復する見通しは不透明なままだ。

経験によれば、『ベーシックテキスト』の翻訳は各国でNAが成長する鍵になることが少なくなかった。タイでは数年前に、2ヶ国語を話し、なおかつ2ヶ国語で読み書きもできるというメンバーたちによって文献翻訳委員会 (LTC) が構成され、お膳立てが整っていた。NAの用語集ができて、IP #1『Who, What, How and Why[だれが、なにを、なぜ、どうやって]』をはじめとする数種類のIP[インフォメーション パンフレット]の翻訳版が完成している。NAの翻訳は、NAの考え方を別の言語で正確に伝えるために行われるものだが、その作業にたずさわるなかではNAの考え方について理解が深まるという実りのある苦勞ができるのだ。このようなことを成し遂げたことで、タイのLTCは、数年前にベーシックテキスト (BT) の翻訳に目を向けた。WB[ワールドボード]とアジアパシフィックフォーラム (APF) のメンバーたちからその都度支援があったことと、NAWSの支援

によりプロの翻訳者と校正者の調達が可能になったことで、タイのLTCは、タイ語版のベーシックテキストを刊行することに成功した。

まさに、申し分のないタイミングだった。タイ語版『ベーシックテキスト』は、2016年2月のAFP[アジア・パシフィック・フォーラム]の会議で出席者全員に配布され、会場は喜びに包まれた。NAWSはNAを代表する文献の出版者として書籍を出版し、それぞれの国で文献が利用できるように全力を尽くしている。タイ語版『ベーシックテキスト』によって、タイのNAではかつてないような成長がみられるようになることを心から願っている。

## 東アフリカでのフェロシップサポート

本会計年度で最もめざましいサービスの業績のひとつは、スワヒリ語による『ベーシックテキスト』の原稿が完成したことだ。スワヒリ語は、ケニア、タンザニア、ザンジバル、ルワンダなど東アフリカ全域で広く話されている言語である。本の完成に向けて、ケニア、タンザニア、ザンツィバルのアディクトたちが作業を続けているが、現在の原稿のままでも、東アジアのNAが拡大し強化するのに役立つだろう。ナルコティクス アノニマスによる翻訳作業は、サービス活動のあり方と多分に似ており、どうしても迅速かつ順調であるとうわけにはいかない。私たちの関心は、翻訳作業がNAの原理に忠実であることと、グループの良心をはかるやり方に従って意思決定が行われるということにある。また、**addict**[アディクト]、**sponsor**[スポンサー]、**recovery**[回復]、**clean**[クリーン]といった単語の場合、異なる言語にはすんなり意味の対応する言葉がないかもしれないので、訳語をめぐって意見の一致をみることで自分が困難で時間がかかることにもなる。これは、まさにスワヒリ語の翻訳作業で数年前に起きたことだ。それでも本会計年度の始めには、スワヒリ語版のインフォメーションパンフレット[IP]が何種類か完成をみていた。

このスワヒリ語版IPのうち何種類かは、ワールドサービスの資金提供によってモンバサで開かれた対面によるワークショップで制作された。しかし、書籍の出版となると、別の方法をとる必要があるのは明らかだった。NAの翻訳は、必ず、3つの機関で取り組む。母国語を話す献身的なメンバーによって構成されるローカルトランスレーションコミティ(LTC[各国の文献翻訳委員会])と、契約した専門職の人たち、そしてNAWSのスタッフによって遂行されるのだ。そして、NAの翻訳では一貫していることがいくつかあり、たとえば、どの言語でも最初に翻訳される出版物は『IP #1』とされている。だが、それを除くと、言語によってもプロジェクトによってもさまざまに異なる。『ベーシックテキスト』をスワヒリ語に翻訳することでは、作業手順で合意に達するのは容易ではなかった。インターネットによるテレビ会議を開き、みんなで一行一行翻訳することを望

むメンバーもいた。一方、それでは時間がかかりすぎると感じたメンバーたちは、まず翻訳者を雇って翻訳原稿を作成してもらい、LTCでその原稿に目を通してから割付作業を行うことを望んだ。私たちは、LTCのメンバーたちと会議を開いて合意の交渉に務めた。LTCのメンバー構成が多国籍であることや、場所によっては移動もインターネットの接続も簡単ではないということもあり、交渉は難航した。

それでも、LTCが作業手順と訳文について翻訳にかかわるNA一同の合意を取りつけられるようにと、私たちは全力を尽くした。「アディクトによる、アディクトのための」という言葉には、NAの文献はメンバーみずからの努力によって作りだされたものだという意味が込められている。だから、私たちの言葉、すなわちこころの言葉がものを言うのだ。それはつまり、プロの翻訳者には表しようのない、回復の道を歩むアディクトひとりひとりの経験でなければ伝えられないものなのだ。さらに言えば、私たちが回復を語るために使う言葉について合意に至る道のりは、ある言語集団のなかで一体性を強固にする過程にもなるのだ。その道のりが困難きわまりないものだからこそ、回復という概念と、私たちがその概念を説明するために使う言葉について、共通の理解がもたらされることになる。

東アフリカではLTCの部外者が翻訳に取り組むことで、手続きが複雑だった。だが、世界中で行われるサービスの取り組みのほとんどが、自己決定によって行動しようとするから活気づく。東アフリカのアディクトたちもそれは変わらない。みずからの決意でやる気になり、計画を作成して行動に移した。そして、LTCがプロの翻訳者を選び、ワールドサービスが資金を提供して『ベーシックテキスト』の翻訳原稿が作成されると、LTCは原稿の見直しを行なったのちに委員会として割付けに同意した。その結果、スワヒリ語による『ベーシックテキスト』の原稿が2016年5月までに配布可能となり、LTCは最終の校正刷りに取り組んでいるところだ。2017年の会計年度には、スワヒリ語による『ベーシックテキスト』の決定稿を手にするをお願いしている。



ケニアのメンバーと、最初に発送されたスワヒリ語によるベーシックテキストの原稿

NAWSの現在および過去の年次報告書を見るには、[ここをクリックしてください。](#)

# ベーシック・キャプション コンテスト最優秀賞

ベーシック・キャプション・コンテストに、  
応募いただいたみなさん、ありがとうございました。  
今回の傑作に選ばれたのは、

スティーブ・S

(アメリカ合衆国/ノースカロライナ) です。:

カンパキじゃなくてもいいから、  
成長したいにゃ〜。



撮影者: イレーネ・C(アイルランド/カウンティ・ウェストミース)

ほかにも優れた応募作があったので、  
以下にご紹介しましょう。:

どう? あたしのクリーンタイムは人間にしたら2年、  
猫にしたら1年半ってとこかしらね。

ベッキー・W (アメリカ合衆国/ネバタ)

.....

「ネコだって」クリーンタイムを祝えたらいいと思わ  
ない?

ダイアナ・W (アメリカ合衆国/ノースカロライナ)

.....

回復の道では油断しちゃダメ。 犬と一緒に寝ようもの  
なら、起きるときはノミだらけよ。

ジェフ・L (アメリカ合衆国/オクラホマ)

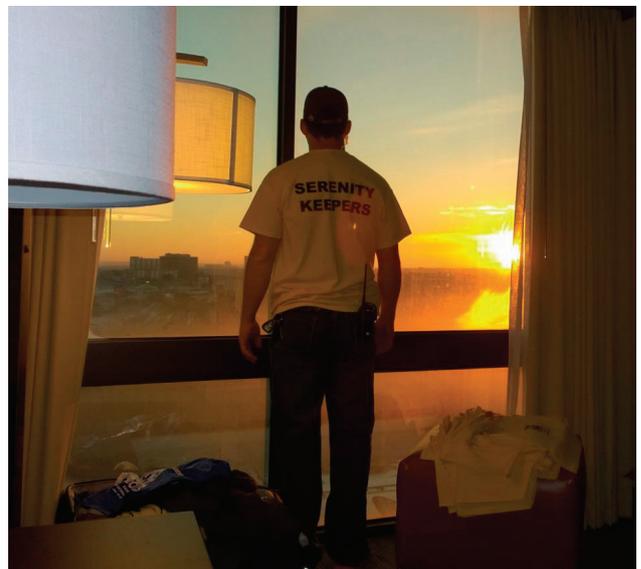
.....

ミーティングにキャットミントを持ち込むことも、ミー  
ティング中にオモチャで遊ぶことも、ご遠慮いただくよ  
うにお願いいたします。それでは、ミーティングを始め  
ましょう。

エフゲニー・K (ロシア/モスクワ)

## BCC 次のお題

ここに、みなさんがNA Wayマガジンに参加できる新  
企画をご用意しました。左にあるコミック[漫画]のキ  
ャプション[短い説明文]を書いて送っていただけ  
で、そのままキャプション・コンテストに参加でき  
ます。みなさんのキャプションから傑作と思える  
もの(1点とは限らないかもしれませんが)を選んで、次  
回のNA Wayマガジンに掲載させていただきます。そう  
やってNA Wayに名前が載るというのも、なかなかいい  
ものでしょう。申し込みは、Eメールで受けつけていま  
す。宛先は [naway@na.org](mailto:naway@na.org)。件名は「ベーシックキャ  
プション・コンテスト」とし、本文には名前と住所を必  
ず記入するようにお願いします。



テキサス州サンアントニオ 第1回 エスペランサ コンベンション  
撮影者:ギルバート・L(アメリカ合衆国/テキサス)

## みなさんが作る NA Wayマガジン

NAで回復の道を歩むなかでみなさんが経験した  
ことを、NA Wayマガジンでわかちあいましょ  
う。体験談、NAでみられる事柄に関する意見、写真、回  
復に関する自作のアート作品など、手段はいくらでも  
あります。このほか、みなさんのNAで発行している  
ニューズレターも歓迎しています。いずれも電子文書  
(テキスト文書をはじめ、jpg, gif, pdf, など)にし  
て、[naway@na.org](mailto:naway@na.org) へ送信されるようにお願いしま  
す。投稿や著作権譲渡に関して詳しいことを知るに  
は、[www.naway.org](http://www.naway.org) をご覧ください。



# カレンダー

Multiday events and those occurring between publication dates are printed according to the schedule posted online. To enter events or to access event details, visit the online calendar at [www.na.org/events](http://www.na.org/events). (If you don't have internet access, fax or mail your event info to 818.700.0700, attn: NA Way; or *The NA Way*; Box 9999; Van Nuys, CA 91409 USA.)

## Canada

**Alberta** 2-4 Jun; Edmonton Area Convention 32; Radisson Hotel & Convention Center Edmonton, Edmonton; eana.ca

**Newfoundland** 9-11 Jun; First Newfoundland and Labrador Area Convention; NLHHN Provincial Learning Centre, Saint John's; carna.ca/events.php

**Nova Scotia** 19-21 May; Central Nova Area Convention 14; Holiday Inn Hotel & Convention Centre, Truro; centralnovaarea.ca

## Denmark

**Skanderborg** 4-6 Aug; Convention & Camp 10; Audonicon, Skanderborg; namidtyjlland.dk/konvent/index.htm

## Indonesia

**Bali** 2-4 Jun; Bali Area Convention; Hotel Puri Saron, Seminyak, Kuta, Bali; na-bali.org

## Japan

**Osaka** 21-23 Jul; Japan Regional Convention 13; International House, Osaka; jrcna13.org/english.html

## Kenya

**Mombasa** 19-22 May; East African Convention 5; Plaza Beach Hotel, Mombasa; ea-na.com

## Norway

**Kongsberg** 26-28 May; Oksnetreff; Oksne, Kongsberg; nanorge.org/arrangementer

## Poland

**Wroclaw** 28-30 Apr; European Service Learning Days 2; Hotel Slask, Wroclaw; edmna.org

## Portugal

**Lisbon** 6-7 May; Lisboa Area Convention 13; Forum Lisboa, Lisbon; www.na-pt.org/xiii-clisboa

**Portimao** 22-24 Sep; European Conference & Convention 33; Portimao Arena, Portimao; eccna.eu

## Russia

**Moscow** 4-6 Aug; Russian Zonal Convention 2; Concert Hall Rossiya, Moscow; na2017.ru

## Spain

**Madrid** 26-28 May; Spanish Regional Convention 35; Hotel Aida, Hotel Torrejon, Torre Hogar, Madrid; narcoticosanonimos.es

## Sweden

**Stockholm** 25-27 Aug; Sweden Regional Convention 30; Fryshuset, Stockholm; nasverige.org

## Switzerland

**Zuerich** 26-28 May; Zuericonvention 5; GZ Riesbach, Zuerich; narcotics-anonymous.ch

## United Kingdom

**Aberdeen** 27-28 May; East Coast of Scotland Area Convention; Hilton DoubleTree, Aberdeen; ukna.org/events

**Birmingham** 6-9 Jul; United Kingdom Convention 28; Hilton Birmingham Metropole, Birmingham; convention.ukna.org

**Glasgow** 4-6 Aug; Scotland-Glasgow & West Coast Area Convention 18; GoGlasgow Urban Hotel, Glasgow; ukna.org/events

## United States

**Arizona** 26-28 May; Arizona Regional Convention 31; DoubleTree Resort, Scottsdale; arizona-na.org/arcna

**2)** 28-30 Jul; Southeastern Arizona Convention 3; DoubleTree, Tucson; natucson.org/convention.html

**California** 2-4 Jun; First Unity Sisters' Women on Fire Campout; Grover Hot Springs State Park, Markleeville; sierrasagena.org/calendar

**2)** 2-4 Jun; Fanning the Flames; Hilton Express, Tracy; calmidstatena.org

**3)** 2-4 Jun; Ride 4 Recovery; Trinity River Resort & RV Park, Lewiston; NARide4Recovery.com

**4)** 7-9 Jul; California Inland Regional Convention 19; Westin Mission Hills Resort, Rancho Mirage; circna.com

**5)** 14-16 Jul; Napa/Solano Women's Spiritual Retreat; Golden Pines Resort, Arnold; napasolanona.org

**6)** 11-13 Aug; Mountain High Campout; Camp Richardson, South Lake Tahoe; sierrasagena.org

**Connecticut** 23-25 Jun; East Coast Convention 21; Connecticut College, New London; eccna.org

**Florida** 27-30 Apr; Fun in the Sun Convention 39; Boardwalk Beach Resort, Panama City Beach; funinthesunconvention.org

**2)** 28-30 Apr; Daytona Area Convention 18; Hilton Daytona Beach/Ocean Walk Village, Daytona Beach; dacna.org

**3)** 28-30 Apr; Recovery in Paradise Spiritual Retreat 25; Sugarloaf KOA, Sugarloaf Key; floridakeysna.org/pages/spiritual\_retreat.php

**4)** 6-9 Jul; Florida Regional Convention 36; Rosen Centre Hotel, Orlando; frc-na.org

**Georgia** 9-11 Jun; Peace in Recovery Convention 27; Marriott Convention Center, Augusta; csra.grsna.com

**2)** 3-6 Aug; Midtown Atlanta Area Convention 26; Renaissance Concourse Atlanta Airport Hotel, Atlanta; midtownatlantana.com

**Indiana** 19-21 May; I Found a Home Campout 30; Camp Red Wing, Muncie; naindiana.org

**2)** 26-29 May; We Grow with Love 25; Camp Alexander Mack, Milford; naindiana.org

**3)** 9-11 Jun; Northeast Indiana Area Convention 5; Hilton Hotel, Fort Wayne; neiacna.com

**Iowa** 7-9 Jul; Iowa Regional Convention 34; Dordt College,

Sioux Center; iowa-na.org

**Kansas** 2-4 Jun; Clean & Serene Summer Serenity Campout 31; kansascityna.org

**2)** 30 Jun-2 Jul; Mid-America Regional Campout; marscna.net

**Louisiana** 19-21 May; Louisiana Regional Convention 35; Crowne Plaza, Baton Rouge; lrcna.org

**Massachusetts** 5-7 May; Martha's Vineyard Area Celebration of Recovery 28; Island Inn, Oak Bluffs; mvana.org/celebrationofrecovery

**Michigan** 6-9 Jul; Michigan Regional Convention 33; Radisson Hotel, Kalamazoo; michigan-na.org/mrcna

**Missouri** 4-6 Aug; InTents Campout 2; Indian Creek Group Campground, Monroe City; stlna.org

**Montana** 16-18 Jun; Montana Gathering 29; Symes Hot Springs, Hot Springs; namontana.com

**2)** 14-16 Jul; NA@10K Meeting & Campout 5; Parkside Campground, Red Lodge; namontana.com

**Nevada** 14-16 Jul; California Arizona Nevada Area Convention 23; Riverside Hotel & Casino, Laughlin; canana.org

**New Hampshire** 23-25 Jun; Fellowship in the Field Campout 27; Apple Hill Campground, Bethlehem; gsana.org

**New Jersey** 16-18 Jun; Greater Philadelphia Regional Convention 29; Crowne Plaza, Cherry Hill; naworks.org

**2)** 4-7 Aug; New Jersey Regional Convention 32; Westin Princeton at Forrestal Village, Princeton; njrcna.com

**New Mexico** 18-21 May; Rio Grande Regional Convention; Marriott Pyramid, Albuquerque; riograndena.org

**New York** 26-28 May; Heart of New York Area Convention 13; Holiday Inn, Liverpool; honyana.org

**2)** 2-4 Jun; Brooklyn Area Convention 2; Hilton Long Island/Huntington, Melville; bccna.org

**North Carolina** 16-18 Jun; North Carolina Family Reunion;

Hilton North Raleigh Midtown, Raleigh; capitalareancna.com  
**2)** 14-16 Jul; New Hope Area Convention 24; Durham Marriott City Center, Durham; newhopeconvention.com

**Oregon** 4-7 May; Pacific Cascade Regional Convention 23; Kah-Nee-Ta Resort and Spa, Warm Springs; pcrnaxxiii.com

**Pennsylvania** 2-4 Jun; Tri-Area Convention 2; DoubleTree, Monroeville; tri-area.org

**2)** 22-25 Jun; Living Recovery Group Campout 9; Rickett's Glen, Benton; nabeehive.org

**South Dakota** 5-13 Aug; Sheridan Lake Campout; Squirrel Group Campsite, near Hill City; sdrna.com

**Tennessee** 5-7 May; NA in May-BBQ Competition & Campvention; Meeman-Shelby Forest State Park, Millington; nainmay.org

**2)** 4-6 Aug; NA1997 Platinum Celebration; Holiday Inn Downtown (Beale Street), Memphis; nagroupna@yahoo.com

**Texas** 26-28 May; Texas State Convention 15; Overton Hotel & Conference Center, Lubbock; tsna.org

**Utah** 9-11 Jun; Southern Utah Area Convention 10; Hilton Garden Inn, Saint George; nasouthernutah.org/suacna-convention

**Virginia** 27-29 May; Marion Survivor's Group Campout; Hungry Mother Lutheran Retreat Center, Marion; Marion Survivor's Group; 139 W. Main St; Marion, VA 24354

**2)** 21-23 Jul; Blue Ridge Area Campout 36; Natural Chimneys Campground, Mount Solon; branacampout.org

**3)** 4-6 Aug; Almost Heaven Area Convention 31; 4-H Center, Front Royal; na2day.tripod.com/genericflier31.pdf

**Washington** 21-23 Jul; Peace in the Pines; Camp Tokiwanee Lost Lake, Tonasket; gclana.org

**Wyoming** 26-28 May; Upper Rocky Mountain Regional Convention 18; Radisson Hotel, Cheyenne; urmrna.org

## NA Way マガジン

NAWS ニュース

リーチングアウト

EメールによるNAWS最新情報

今日だけ

毎日のEメール配信

インターネット版の予約購読:

印刷費 ゼロ

郵送料 ゼロ

そのままEメール配信されます。

ただいま募集中...

グループのミーティングフォーマット

NAのグループは、世界中でそれぞれに独自のやり方でミーティングを開いています。メンバーたちは、ホームグループのために新しいアイデアを模索することが多いので、私たちは[naway@na.org/localresources](mailto:naway@na.org/localresources)にある「ローカルサービスリソース」というWebページをつねに更新しています。そこで、みなさんにお願ひがあります。ミーティングフォーマットをはじめとして、みなさんのグループがすべきことをするのに役立てている資料をごちらにお寄せください。それを、今度のグループが自分たちのすべきことをするのに役立ててもらいましょう。

[fsmail@na.org](mailto:fsmail@na.org)

FS Team  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409

fax: 818.700.0700  
(attn: FS Team)

# NAWS Product Update



## 2017 JFT Calendar

Get your daily recovery inspiration and encouragement with excerpts from our *Just for Today* book. 4.25" x 5.25" tear-off pages with easel. Item No. 9500 Price US \$7.00/6.49 €

## Special JFT Bundle

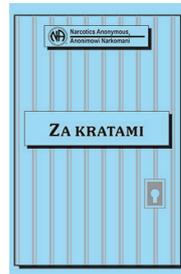
*while supplies last*  
*Just for Today* Collector's Edition & 2017 Calendar  
 A special hand-numbered, limited quantity collector's edition, commemorating the two millionth copy of *JFT*.  
 Item No. 1115B Price US \$33.00/26.49 €



## Estonian

### IP #11: Sponsorlus

Item No. ET3111 Price US \$0.24/0.21 €



*Behind the Walls*

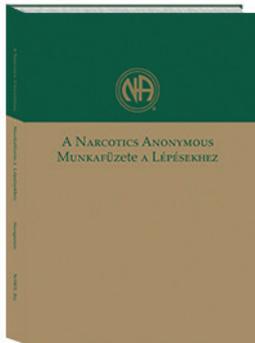
### Za kratami

Item No. PL1601 Price US \$0.95/0.82 €

## Hungarian

*The NA Step Working Guides*  
*A NA Munkafüzet a lépésekhez*

Item No. HU1400 Price US \$8.50/7.50 €



## Group Reading Cards (Set of 7)

Item No. PL9130 Price US \$4.60/4.25 €

## Portuguese

### IP #29: Uma Introdução às Reuniões de NA

Item No. PO3129 Price US \$0.24/0.21 €



## Spanish

### IP #26: Accesibilidad para aquellos con necesidades adicionales

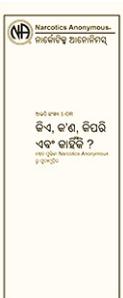
Item No. SP3126 Price US \$0.24/0.21 €



## Odia

### IP #1: କିଏ, କ'ଣ, କିପରି ଏବଂ କାହିଁକି ?

Item No. OR3101 Price US \$0.24/0.21 €



## Polish

*The Group Booklet*  
*Książeczka grupy*

Item No. PL1600 Price US \$0.95/0.82 €





## Slovenian

### IP #2: Skupina

Item No. SL3102 Price US \$0.31/0.26 €

### IP #7: Ali sem odvisnik?

Item No. SL3107 Price US \$0.24/0.21 €

### IP #16: Za novinca

Item No. SL3116 Price US \$0.24/0.21 €

### IP #22: Dobrodošel v NA

Item No. SL3122 Price US \$0.24/0.21 €



## TRY IT TODAY!

### Recovery Companion App

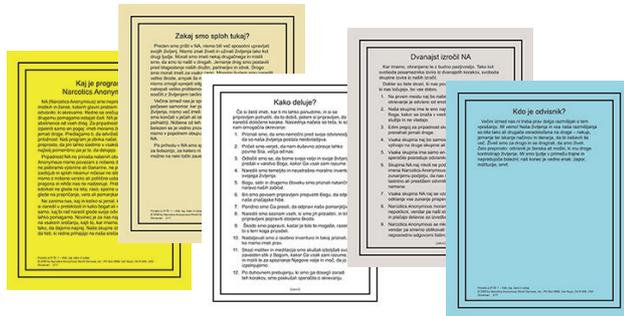
available in English, Portuguese (Brazil), Russian, Et Spanish

A companion app to support recovering addicts in daily life. Includes IP #9, *Living the Program*, *JFT* meditations, cleantime calculator, meeting locator, group reading cards, tools to help contribute financially to NA, call your sponsor, read NA literature... and much more. Available on:



## Group Reading Cards (Set of 5)

Item No. SL9130 Price US \$4.60/4.25 €



## Coming Soon

## Line-Numbered Basic Text

*Narcotics Anonymous*

Item No. 1101LN Price US \$11.55/10.00 €

## Portuguese

Sixth Edition Basic Text

*Narcóticos Anónimos*

Item No. PO1101 Price US \$11.55/10.00 €

## Twelve Traditions Bookmarks (Set of 12)



Attractively packaged set of twelve bookmarks with each Tradition debossed on one side and striking artwork inspired by *Guiding Principles: The Spirit of Our Traditions* on the other side.

## Spanish

Concordance Line-Numbered Basic Text

*Narcóticos Anónimos*

Item No. SP1102LN Price US \$11.55/10.00 €

## Danish

*Just for Today*

Revised to the Sixth Edition Basic Text

*Bare for i dag*

Item No. DK1112 Price US \$9.00/7.90 €

## eLit

Soon available thru Amazon, iTunes, and Google Play:

Italian Basic Text

*Narcotici Anonimi*

Spanish Basic Text

*Narcóticos Anónimos*

